

JB Customer Report カスタマーレポート

ORPHIS FT

岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の
「生の声」をご紹介いたします!

取材：営業部 営業企画推進課

笠松中央公民館 様

笠松中央公民館様に2021年8月に導入されたFT5230について、教育文化課の佐藤様にお話を伺いました。

働き方改革を実現するために

笠松中央公民館は1974年に竣工され、笠松町民体育館も併設されているため町民・団体が多く利用されます。

公民館での印刷は、全小中学校に配布をしている夏休み・冬休み講座のチラシや、施設利用案内、お便りなど多岐にわたり、町民全体配布資料などは約9000世帯あるため一回の印刷が非常に多い場合もあります。大量に印刷する場合や、片面印刷の際は、単色印刷機(リソグラフ)でも不便を感じていませんでしたが、両面印刷時の片面の乾燥時間や、複数ページの印刷を行う際の丁合作業など職員の負担が多くネックになっていました。また、公民館の案内以外にも、町の会議資料の印刷を印刷機で行っていますが、ページ数・部数が多いため、後処理にとても時間がかかり職員2~3人で作業することがしばしばありました。そのような課題を解消してくれたのが高速印刷の出来るORPHISでした。働き方改革の流れの中で、笠松中学校と同タイミングで笠松中央公民館にもORPHISが導入することが出来、印刷環境が劇的に変化しました。ORPHISの導入により、両面印刷の乾燥する作業がなくなり一度で両面印刷動作が完了しますので、出来上がりをすぐ案内にまわせるため負担が減りました。ページものの印刷についても、丁合作業が不要で出来上がりますのでかなりの時間短縮となっています。利用団体が印刷するものも従来は特殊な印刷が多いことから付き切りで印刷することが多くなってしまうことから機器使用団体主体で印刷を行ってもらっていることが多かったですが、ORPHIS導入で操作性と利便性向上により職員が請負して印刷をするようになりました。働き方改革だけでなく、地域への貢献にもつながる改革が出来てよかったです。



カラー印刷を身近にするプリンター

ORPHIS導入により、カラー印刷がより身近になりました。従来から公民館内でのカラー印刷ニーズは高く、導入前は役場にORPHISの設置があるため、役場(3F)まで用紙を持っていき印刷を行っていました。印刷枚数が多いと移動する手間と運ぶ手間などがあるので、リアルタイムで印刷が出来ないところからやむをえずモノクロ印刷で実施することもありましたが、今は公民館内にORPHISの設置があるので気兼ねなくカラー印刷を行えています。特に地域の方に対して配布する啓発チラシはカラー化によって地域の方の評判も上々で、見やすいチラシ作りにも熱が入りますね。会議資料も無機質なものからカラー化で議題ポイントがわかりやすくなったり、ここでも働き方改革につながっていますよ。封筒印刷の宛名印刷など他プリンターで出力しているものも今後ORPHISで印刷して活用の幅をもっと広げていきたいですね。

営業担当者の声



営業担当: 棚瀬 陽介

ORPHIS FT5230をご使用頂きありがとうございます。笠松中央公民館様は元々RISO製品であるリソグラフを使用していましたが、カラーで印刷物を作成する際にはORPHISのある笠松町役場様まで足を運んでおられました。そんな中で2021年8月にORPHISを導入して頂き笠松中央公民館内外のカラー印刷を高速で行い、ORPHISの後処理機能までご利用頂いており大変うれしく思います。まだまだお客様のお役に立つ機能もございますので、少しでもお客様の手間を省くため色々なサポートをさせて頂きたいと考えていますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

